

観光サミットへ英語研修

道観光機構 2月までに道内各地で

北海道観光振興機構は20日、来年9月に道内で開催される体験型観光の国際イベント「アドベンチャー・



全道からのアクティビティガイドが参加した英語研修会

トラベル・ワールド・サミット(ATWS)」に向け、アクティビティガイドの英語研修会を、札幌市中央区のかでる2・7で開いた。札幌のほか、来年2月までに釧路、旭川の両市でも研修会を開き、全道から約80人のガイドが参加する。

ATWSは約60カ国から観光関係者800人ほどが集まり、商談会やツアーに参加する。研修は、サイクリングやラフティングなどのガイドで使う実践的な英会話をネイティブの講師から学び、外国人客への対応力を高める狙いだ。

初日の20日は、サイクリ

ングのガイドを想定し、風の強さや降水確率を表す英語表現を確認。「物価高でツアーの価格が思っていたより上がった」など想定されるトラブルに対しては、丁寧な言葉で理解を促すな

ど、クレーム対応の方法も学んだ。同機構は「海外からのお客さまに北海道の魅力をしっかり伝えられるように準備をしたい」と話している。

(桜井翼)